

使用教科書	光村図書「国語2」 / 光村図書「中学書写」	学年	1	年	年間授業時数	140	時間
使用副教材など	ワーク 便覧 文法用テキスト						

年間指導計画 及び 評価方法

1学期

月	時数	単元名(題材)	節(学習のまとめ)	評価(B)規準		
				知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	6時間	言葉に出会うために	朝のリレー 野原はうたう 言葉を調べる 続けてみよう	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア)	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。
4月 5月	12時間	学びをひらく	はじまりの風 季節のしおり 春 情報を聞き取り、要点を伝える 言葉1 音声の仕組みや働き 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする 漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A1)ウ)	・場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。 ・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
5月 6月	12時間	新しい視点で	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン 情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く 言葉2 指示する語句と接続する語句	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ)	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C1)ア) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B1)イ)	・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。

6 7	月	12	時間	言葉に立ち止まる	空の詩 三編 「書く」詩の創作教室 言葉3 さまざまな表現技法 比喩で広がる言葉の世界 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 文法1 言葉の単位 語彙を豊かに 心情を表す言葉 情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) ・単語の類別について理解している。(1)エ) ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見だしている。(B(1)オ) ・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ)	・詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。 ・進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。 ・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。
--------	---	----	----	----------	---	--	--	---

1学期の 評価場面・方法	知識 技能	定期考査 単元テスト ワークシート	思考 判断 表現	定期考査 単元テスト ワークシート	主体的に学習に取り組む態度	定期考査 単元テスト ワークシート 振り返り用紙
-----------------	-------	-------------------	----------	-------------------	---------------	-----------------------------

2学期

		評価 (B) 規準						
月	時数	単元名 (題材)	節 (学習のまとめ)	知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度		
9 10	月	20	時間	心の動き	大人になれなかった弟たちに… … 星の花が降るころに 項目を立てて書こう 案内文を書く 【推敲】読み手の立場に立つ 言葉4 方言と共通語 聞き上手になろう 質問で話を引き出す 漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	・登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 ・必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。 ・粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。 ・進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

10 11	月	20	時間	筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 思考のレッスン1 意見と根拠 根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する 漢字に親しもう3 文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て 聴きひたる 大阿蘇	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) ・単語の類別について理解している。(1)エ) ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点などを見いだしている。(B(1)オ) ・	・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見直しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。 ・根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見直しをもってレポートを作成しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。 ・進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
11	月	12	時間	いにしえの心にふれる	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌 蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から 今に生きる言葉 【書く】故事成語を使って体験 文を書こう	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	・古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見直しをもって、古典の世界に親しもうとしている。 ・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
11 12	月	14	時間	価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す 【書く】筆者の主張に対する自分の意見を書こう 思考のレッスン2 原因と結果 漢字に親しもう4 【話し合い(進行)】 進め方について考えよう 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) ・	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・話すこと・聞くことにおいて、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	・必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。 ・積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見直しをもってグループで話し合いをしようとしている。

2学期の 評価場面・方法	知識 技能	定期考査 単元テスト ワークシート	思考 判断 表現	定期考査 単元テスト ワークシート	主体的に学習に取り組む態度	定期考査 単元テスト ワークシート 振り返り用紙
-----------------	-------	-------------------	----------	-------------------	---------------	-----------------------------

3学期

月	時数	単元名 (題材)	節 (学習のまとめ)	評価 (B) 規準		
				知識 技能	思考 判断 表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 3 月	28 時間	自分を見つめる	少年の日の思い出 〔書く〕別の人物の視点から文章を書き換えよう 漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つげよう 文法3 単語の分類 二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く 漢字3 漢字の成り立ち 一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する ほくが ここに	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ) ・単語の類別について理解している。(1)エ) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。 ・進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字の成り立ちについて理解しようとしている。 ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点を資料にまとめ、発表しようとしている。 ・積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
3 月	4 時間	学びを深める	国語の力試し	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(C(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。

3学期の 評価場面・方法	知識 技能	定期考査 ワークシート	思考 判断 表現	定期考査 ワークシート	主体的に学習に取り組む態度	定期考査 ワークシート 振り返り用紙
-----------------	-------	-------------	----------	-------------	---------------	-----------------------